

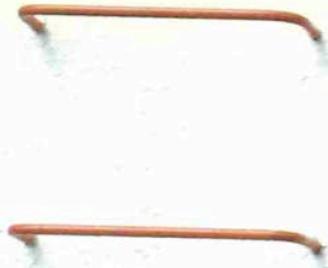
神戸のディテール

石阪 春生
Detail of KOBE

写真/杉尾友士郎

75







表情生き生き、毛皮。

11月10日～18日 Bennie original毛皮展示会

お気軽にローンをご利用ください。ボーナス先取りでご予約を承ります。

■ベニーワンポイントアドバイス〈着こなしについて〉

さり気なく着ることがなにより、鏡で全身をバランスチェックしてください。胸をはって姿勢よく着こなすのが一番大切なことです。

中央写真は、ダイドミンクブルゾン
(リバーシブル)
& ダークミンクブルゾン

最高の品質と信用を誇る毛皮専門店
二毛皮店

神戸市東区御幸通8 神戸国際会館1F
☎078-221-3327

Stylist/Chie Oshima Photo/Y. Sugio

Most Beautiful Quality Life



創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL (078)341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL (06) 231-2106

元町三番街

川⁰川₂川⁰口-レ





マロンクーヘン まろやかに新発売

KOBECCO
ETRANGER (フランス)

2
Erica Mathonnet

新発売のマロンクーヘンは甘さをおさえたフワフワの新菓の香り。清純なエリカの雰囲気にぴったりのお菓子です。来年はアメリカの大学に入学の彼女ですが、まだまだケーキが似合うお年頃です。

あ菓子の  コトブキ

CONFECTIONERY
KOTOBUKI

本社 〒650 神戸市生田区北長狭通1丁目19番地
☎ (078) 391-8681(代)

PHOTO/Y. SUGIO

協力/ブティック魔女 うろこの家

素敵な出逢い—神戸のエスプリ

'79 LIZA WINTER COLLECTION



宝塚パウホールにて

時の流れに心をとめて…私の交響曲

未完の恋愛譜を奏でたショパンの心のように
華やかな喝采のあとに残る微かな旋律は私を冬の詩情へ誘う。

暮らしにエスプリを求める人のくりざ・サロン
素敵なあなたに冬の神戸ファッショをお届けします。

コンサート、観劇など大人のファッショを
楽しむ機会が多い頃。

TPOに合わせてエレガントな冬を
楽しみたいてすね。

衣装提供 ミュージックフェアに南田洋子さん着用

南田洋子さん(神戸本店にて)



シンフィニー

DOLCE

PRESENTED BY LIZA ドルチェは、ロマンを求めてづける
男性のための豊かな日常着。阪急ファイブ5階
ドルチェ・サロンに取り揃っています。



リザはファッションを通して豊かな生活を考えます

LIZA

●神戸本店

神戸市生田区三宮町1-17-4センター・プラザ3階／〒650
電話078(391) 6806代

掲載商品のお問い合わせは神戸本店まで

●お近くのくりざ・サロンで神戸ファッショをお楽しみください=大丸京都店1階・2階 そごう大阪店1階・3階 阪急ファイブ地下1階
大阪ナンバ CITY そごう神戸店2階 大丸神戸店2階 大丸新長田店1階 センターフラザ1階・サービス提供店 梅田かわい
●全国リザ・サロンご案内=札幌・仙台・水戸・千葉・東京・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・北九州・大分・熊本・鹿児島

貴女も“リザ・ファッション”サークルにご入会なさいませんか。

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたの暮らしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

11月目次 1979・No.223

表紙／小磯良平
セカンドカバー／僕の見た神戸(11)／西村 功

- 9 神戸っ子'79／竹田恵美子／善竹季夫
13 ある集い／大和楽 蘭の会
15 コウペスナップ
16 イメージの神戸(32)／中辻悦子
18 神戸のディテール(75)／石阪春生／カメラ・杉尾友士郎
29 わたしの意見／陳 徳仁
31 随想／西村みどり／荆木恵美／中村 隆／カット・伊藤悦子
34 ある集いその足あと／大和三千世
36 連載エッセイ・私のひろいもの(11)／竹中 郁
38 甲南女子大学と神戸(2)／錦坂二夫
40 ずっとけ車表(6)／春木一夫／カット・たかはしもうち
42 キャンペーン・国際文化都市神戸を考える
日本を代表する博覧会ポートビア'81
三宅芳郎／袖本敏馬／茂藤義定
ポートアイランド情報 5
50 経済ポケットジャーナル
52 旅行アサヒ創刊・全国のタウン誌が結集して
55 地域文化論(3)／福岡市立歴史資料館／水谷穎介
林屋克三郎／大橋一範／金子健樹／半田宣雄／小泉康夫
56 特集／神戸の町角
文・三枝和子／安水稔和／山口光朔／桜井利枝／林田重五郎／山田公平／
岡田美代／灰谷健次郎 絵・松本宏／松岡寛一／小松益喜／西小保文
／鶴居 珍／高崎研一郎／石阪春生／貝原六一
76 KOBE FASHION SPOT
82 NEUE MODE MÄRCHEN-23／篠原順子
102 第二回市長杯争奪美術家野球大会熱戦譜
113 神戸の催し物ご案内(11月)
114 動物園育日記(18)／亀井一成
118 六甲山100コース ㉙ 鈴蘭台から修法ヶ原／菖蒲大悦
㊱ 十文字山／永楽季一
123 ノコちゃんの華麗なる食べる記(11)／小山里里子
126 神戸を福祉の町に(71)／橋本 明
129 神戸の集いから
130 ファッショニ学講座(11)／岡田 淳
122 ファッショニンレポート／クロス・清水俊夫
137 K・F・Sニュース
138 私の映画手帖(23)／淀川長治
140 女体百景(87)／二人妻／細川 葦
142 びといん
145 神戸百店会だより
146 ポケットジャーナル
150 連載ルポ・知らない人の神戸・5「有馬から」
蒼 竜一／カメラ・緒方しげを
154 小説 施設の月／鄭 承博／絵・吉見敏治
159 トーク & ドラマ・コラム
176 再びアルファベットアベニューの「F」／新井 満・石阪春生
海 船 港／神戸・大津友好の船乗船記／橋本 明

カメラ・米田定蔵／藤原保之／橋本英男／後藤 孝／速水 亨
目次作品／元永定正

5 motonaga '79

●祝 トアロード改装完成

グリーンベルトを ファツショーンの風が吹く



スギヤ本店

婦人服地とおしゃれ洋品

スギヤ

本店/神戸トアロード
☎078-331-3436

阪急神戸店 阪急百貨店 神戸支店 内
六甲店 阪急六甲駅構内ファミリーストア内 電話078(321)3521
芦屋川店 阪急芦屋川駅構内ファミリーストア内 電話078(871)2733
宝塚店 阪急宝塚南口駅構内ファミリーストア内 電話079(31)8193
梅田店 大阪梅田阪急三番街地下1階 電話0797(73)1244
心斎橋店 大阪心斎橋筋1-45 パルコ3階 電話06(245)1316
戎橋店 大阪市南区ホリディインスクウェア1階 電話06(213)8440
大津店 西武大津SC特選街1階 電話0775(25)5405
宇都宮店 東京都豊島区南池袋1池袋パルコ地下1階 電話03(987)0567
宇都宮市西武百貨店宇都宮店2階 電話0286(36)5230



本店 〒650 神戸市兵庫区三宮町3-15 電話078-221-3436

（受付時間 10時～21時）

風が冷たくなると、ファッションが燃えてくる。



トータルコーディネートファッショング
●リザ・サロン
アクセサリー・内外雑貨
●ルイ・ミッシェル
COLLEGE SHOP
●CABIN
パリ・ナウファッショング
●フランス・アンドルヴィ
パリ・ナウファッショング
●ジョージュ・レッシュ
東京銀座・婦人靴
●ダイアナ
舶来婦人靴専門店
●Pia
ヤング&アダルトファッショング
●ルペール
ヤングアダルトファッショング
●ランブ
ファッショントバッグ・アクセサリー
●美呂
原宿・婦人服
●CAN
銀座・婦人服
●ゲルラン
婦人服飾
●東京屋
新宿・レディスファッショング
●高野
おしゃれな靴の店
●BONフカヤ
コンテンポラリーファッショング
●ザ・コレクション
宝飾・ビジョテリー
●ココ山岡
東京ギンザ・レディスファッショング
●三愛

**FASHION
PARK**

神戸・三宮
さんプラザ・センター・プラザ
3F

情趣あり。秋の味覚膳。



特選和陶器サロン〈6階〉

陶喜の辞

題字：望月美佐

土と炎と技の巧み

おいしい旬の便りが、海、山、里から
送り届けられる頃、とりどりの器に
季節の香りをのせて懐石膳と洒落て一席。
姿ゆかしい割山椒、妙味あふれる向付け、
暖かい肌ざわりの織部も加えて、
秋の夜長に宴たけなわ。

●（そごう）特選和陶器サロンでは、芸術性あふれる高級陶器から、
实用性を兼ね備えたご贈答好適品まで厳選した品を取り揃えています。

☆私の意見

日中友好にも役立てば

陳 德 仁

（神戸中華総商会会長）



——この度「神戸華僑歴史博物館」のオープンとなりました。たいへんに大きな計画ですね。

陳 二十年程前から華僑の歴史を本にまとめようとして資料を集めていたのですが、神戸中華総商会ビルの建設によつて、過去百十二年間の華僑の歴史を展示することにしたのです。この神戸中華総商会ビルの建つ生田区海岸通3丁目33番地というのは、華僑が神戸に来て貿易を開いた中心地として非常に栄えたところで、その二階を歴史博物館とするのです。

——展示内容はどのように？

陳 今まで収集してきた資料の展示のほかに、華僑が日本に来て、実際に日常生活に使つていたものも並べてヴァラエティに富むようにします。華僑が使つていた日常品ということは神戸市民が使つていたものもあるわけですね。他に社会に貢献したり、神戸で活躍したりした華僑たちや、兵庫県や神戸市の発展とともに神戸の華僑が現在あるという考え方から、歴代の知事や市長、神戸商工会議所会頭、財界、政界の人たちの写真も飾つたりします。また、中国と日本のことを書いた書物も全部買い集めたいと思っています。だけど今ある資料も、全部展示できないくらいの量で、効果的な展示の方法もむずかしいですね。現在は神戸が主体となつた資料ですが、将来は全日本の華僑の資料、さらに世界の華僑の資料を集めて、歴史博物館の名に恥じないようにして、五十年、百年、二百年と続く組織にもつていただきたいですね。そのためにも参観していただいた人から、さらに資料を提供していただければと期待しているのです。

——内容のあるものに育つて欲しいですね。

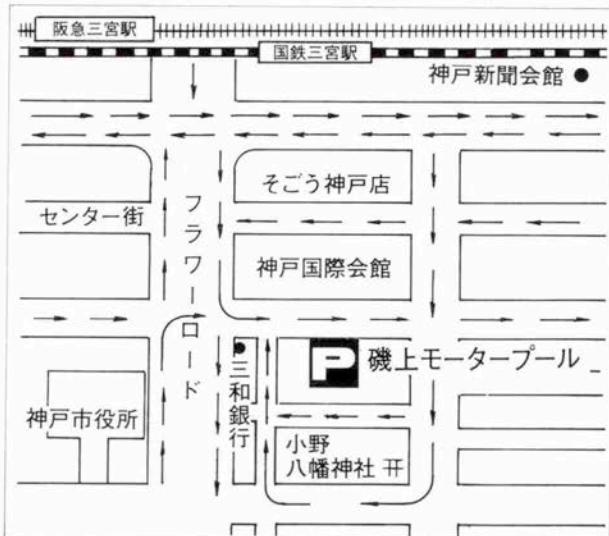
陳 相当意欲を出しているのですが、やはり資金が要りますね。資金集めにも苦労しています。建物の建設費はともかく、博物館を維持していくにもお金がかかるため展示する内容によつては入場料をいただくこともあるかもしれません、この博物館が神戸の文化のために役立ち、中日友好のために貢献できればうれしいですね。



ビジネスに、ショッピングに

三宮で一番便利な

自走式立体モーターパールです



- 収容台数 300台
 - 月 極 駐 車 可
 - 年 中 無 休
- (8:00AM~11:00PM)



磯上モーターパール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873

隨想



カット 伊藤 悅子

パリお菓子修業 あれこれ

西村みどり
△料理研究家△

パリのコルドンブルーといえば世界中にその名を知られる、かどうかは知らないけれど、日本では最近雑誌などにも紹介されたりしてかなり有名になつてゐるし、私にとってはひとつの憧れの料理学校だつたのです。

ロアールのアンボワーズ城にて筆者

パリのコルドンブルーといえども、日本で想像していたのとは大違い。ごくふつうのアバルトマンの一階にまさに庵を借りてといつた感じで、実習用の部屋が二つとシェフがデモンストレーションをする為の部屋がひとつ、それに簡単な受付があるだけ、学生数も料理お菓子クラスを合わせて四十五人程という、小じんまりした学校なのです。そこにフランス料理或いはお菓子を学びにきている学生はすべて外国人、そしてやはり、アメリカ人と日本人が一番のお得意さん您的ようです。私が登録していたお菓子のクラスも、アメリカ人と日本人が三人ずつとメキシコ、スペイン、タイからそれぞれひとりずつというメン

ところが、エッフェル塔のそばにある、そのコルドンブルーに行つてみると、日本で想像していたのとは大違い。ごくふつうのアバルトマンの一階にまさに庵を借りてといつた感じで、実習用の部屋が二つとシェフがデモンストレーションをする為の部屋がひとつ、それに簡単な受付があるだけ、学生数も料理お菓子クラスを合わせて四十五人程という、小じんまりした学校なのです。そこにフランス料理或いはお菓子を学びにき

る分のタルトがなくなつていて、かなり出来栄えのよくなないのが最後にひとつ残っていたのには啞然としました。シェフの言によれば、オーブンから出したお菓子をめぐつて、「それは私のだ!」「いいえ私の!」という喧嘩が起こることもあるそうで、必ずオーブンのどこに入れたかを覚えておいて、焼き上がつたら、すばやく自分の箱に入れてしまうことが肝要なようです。

私達にとつてはびっくりするこ

とですが、器用なくせに「きれい

バーでした。その九人が、片言のフランス語や流暢なフランス語、そしてフランス人のシェフの片言の英語なども混じえて実習するわけです。

実習では各自がひとつずつお菓子を作るのですが、まず道具の奪い合いから始まります。器具はもちろん人数分揃つてあるはずなのですが、必ずしも所定の場所においてはいないこと、自分で探しに隣りの人ので済ませようとする人がいたりすることが原因のようです。使いかけの泡立器がいつの間にかなくなつてゐるなどはしつちゅうで、初めのうちこそびっくりしましたが、そのうちこちらも負けずに手近にあるものはさつさと使つたりして……。



先生がおひいきのなごみを焼き上げました



で思つてることは、どうしても文章に出来ない部分である、という気がしている。

新聞の紙面に参加することがあるとしたら、交通事故にあう時ぐらいいだろうと信じてた。それなのに、ものの弾みで、毎週映画のことを書いて、それが新聞に連載される不思議となつた。

映画は好きだった。というより映画館が好きだった。暗い映画館の中、一人ボソソリ座っていると、何故か心が落ちついた。それも、華やかな封切館ではなく、少し古い映画の一、三本立てで、客席がまばらで、しょんぼりした映画館が好きだった。そんな映画館が好きだった。そんな映画館が好きだった。

「は出来たれ」と覚めらわが時
つと嬉しい表情がなかなか出来ない日本人というのも、他の外国人
にとつては不思議な存在かもしれません。色々な国の人があつまつて
そこで皆同じお菓子を作るわけですから、やはりそれのお国ぶ
りともいうべきものが自然に表わされて、それがまたおもしろいわけ
です。

それにもしても、実に楽しそうに作り、自分でほんとうにおいしそうにたっぷりと試食するフランク人のシェフの態度にあれでこそおいしいお菓子が出来るのだなあと思つたものです。

□来年1月より鴨子ケ原の自宅にて小人数
グループで「お菓子の教室」を開講予定。
お問合せは曾843-0125西村まで

ストレートに

生きたい

荆木 恵美

相えてみてもハツ、読んで下さる
側に媚びようとしてみてもバツ。
だからといって、どう書けば良い
のか……。結局、心のいちばん奥

リフが、ともすれば笑い飛ばされてしまう。ストレート過ぎるセリフは、近頃の若者達には愛されないようだ。ヒーロー然としたヒーローでは、ヒーローになれないのである。そして、異常なまでに目の肥えた、感性の研ぎ澄まされた今の映画ファンを満足させるには

一筋縄では行かない。乾いた客席を熱くさせる映画作りは、これから先も、増えナゾナゾの難問となつていくのかもしれない。

だが、しかし、こういう時代にこそ、世間のブハハの笑い声を、気にせずストレートに熱く燃えて生きて行きたい、と思つてはいるのですが……。

□神戸新聞・毎週月曜日の夕刊に「私の映画手帳」を連載中。

一輪のまつり

中村
隆

八言一集卷之三



詩誌「輪」五十号を記念して、来る十二月二日（日）、農業会館大ホールで、「輪のまつり」を催す。なにを祭るのか、未だ企画中だが、早くから会場を予約した以上、「輪」らしく愉快な、破目を外した、一テーマにして、と思って

太郎さんの「粒」は七十号近くに
もなっているので、余り自慢する
ほどの事件ではない。しかも、二
十五年で五十号ということは、年
に二冊という勘定だから、牛歩で
いいところだろう。「輪」二十七
号を出した時に、創刊十五年を記
念して第一回の「輪のまつり」を
須磨の藤田ガーデンで催した。五
月末のいい季節であったのに、あ
いにくの雨で折角のガーデン・パ
ーティはお流れ、慌てて室内に会
場を移したものの、はじめの企画
の半分は削りとられるという、
「輪」らしき祭りであった。それ
でも出席者百二十名、スピーチ
や、ウエスタン・バンド、スペニ
ッシュ・パレード、「輪」同人によ
るアトラクションなど、盛りだく
さんのにぎにぎしいパーティーであ
った。ただ詩人はソロバンには弱
く、次号に喰い込む大赤字に泣い
た。今回はせめて二次会分くらい
浮かせてよ、と言っているが、前
回と同じ結果になることは覚悟し
ている。

貝原六一の装画と、それぞれの持ち味を發揮した。経費節減のために（現在でも同じ火の車だが）神戸刑務所で創刊号を刷った。貝原の見事な表紙のカットにグリーンの題字、うすっぺらな冊子であったが、われわれは大満足であった。ただ苦心してレイアウトした余白に、無惨にも受刑者の好意による、牛や、日の出のカットがべたべた入っていて、がっかりさせられたが、とも角、ぼくの店の得意先であつた神戸拘置所の車で、おごそかにわが家に運びこまれた。二号からガリ版に格落ちしたが、ぼくも、伊勢田も、山本も、若さにかまけて夢中で書いた。よきかな、青春。三号から直原弘道、岡見裕輔、灰谷健次郎などが加わり四号で現在の主な同人はほぼ出そろつた。あれから二十五年経つ。現在の同人、十六名。世帯は大きくなつたが、相も変わらず牛歩は崩さぬ。各々の人生体験は異なるが、あの当時の熱い気持は今も變りはない。白髪頭や、はげた奴や、老眼が、出会えば口角泡をとばし

眼が、出会えば口角泡をとぼし「祭り」の企画に夢中になる。教授や、サラリーマンや、銀行員や、商店主が、まるで子供のように、怒ったり、笑ったりしている。また、たのしからずや、である。

いのだが、神戸では同じ詩誌で三百三十二号を数える「浮標」などがあり、「輪」と同じ年に創刊した西本昭

の詩九篇、山本博繁の創作一篇、

□「一縦の会」連絡先
兵庫区東山町2丁目1の4番511-27
23中村まで

□ ある集いその足あと

神戸大和楽の集い

蘭の會

「大和楽」は、昭和八年にこの神戸文化ホールのある大倉山にもゆかりの深い大倉喜七郎氏が、一中節都派の第十一世家元でありました。日本音楽の伝統の中から又、西洋音楽の優れた面から有益な要素を採取し、飽くまで日本人の感性に相応しい音楽作品をと念願して創設した新しい楽派です。

創設者の大倉聽松（喜七郎）氏



9月27日第22回グリーンステージ日本の調べ『大和楽、神戸文化ホールに於いて。
『春・夏・秋・冬』の演奏風景。

は「これから日本の音楽という意味で、他のものと混同されないため、大和の音楽、大和楽と名づけた次第です。大和楽も邦楽である以上、その基盤を日本の古典に置き、西洋音楽の材料、表現形式をも自由に取り入れ、ここに洋の東西を問わぬ、現代に相応しき新日本音楽を創出せんとする新しい楽派となつたのであります」と述べて三味線を伴奏とする歌曲の分野に新風を巻き起こしたのであります。第一期は作詞に創設者の大倉聽松、長田幹彦、笛川臨風、長谷川時雨氏、作曲・唄に岸上きみ（大和美葵）唄に三島儀子（大和美世葵）が輩出し、第二期には、作詞に邦枝完二、作曲・演奏に宮川寿朗（清元栄寿朗）で発展。第三期の現在は、載間庸吉、作詞の田中青滋、唄の大和美世葵、さらには長唄から作曲・演奏の大和久満（長唄・芳村伊十七）と、唄の大和三千世、演奏の大和秀さんらが活躍されて現在の隆盛をみるにいたりました。

このたび、神戸文化ホールのグリーンステージにとりあげて頂き「大和楽」が、東京だけでなく神戸の地にも大和美世葵・三千世門下生が約三十名揃い関西方面での舞踊界における地方演奏に「大和楽」は、貴重な存在となりそのオリジナル性とハーモニイと、一門

は「これから日本の音楽という意味で、他のものと混同されないため、大和の音楽、大和楽と名づけた次第です。大和楽も邦楽である以上、その基盤を日本の古典に置き、西洋音楽の材料、表現形式をも自由に取り入れ、ここに洋の東西を問わぬ、現代に相応しき新日本音楽を創出せんとする新しい楽派となつたのであります」と述べて三味線を伴奏とする歌曲の分野に新風を巻き起こしたのであります。第一期は作詞に創設者の大倉聽松、長田幹彦、笛川臨風、長谷川時雨氏、作曲・唄に岸上きみ（大和美葵）唄に三島儀子（大和美世葵）が輩出し、第二期には、作詞に邦枝完二、作曲・演奏に宮川寿朗（清元栄寿朗）で発展。第三期の現在は、載間庸吉、作詞の田中青滋、唄の大和美世葵、さらには長唄から作曲・演奏の大和久満（長唄・芳村伊十七）と、唄の大和三千世、演奏の大和秀さんらが活躍されて現在の隆盛をみるにいたりました。

他に地元の舞踊家が大和楽の「あすなろう」「団十郎娘」「お祭り」を踊り幕を閉じました。この創設者ゆかりの大倉山は父君にあたる大倉喜八郎氏が市に寄贈した図書館もある神戸の文化ゾーン半世紀を経た「大和楽」が、ここに花開き、満員の聴衆を集めて印象深い舞台を創り、明日の邦楽への新しい道へ一步あゆめたのも不思議な「縁」に思えるのです。

△12月3日には国立小劇場で「大和楽演奏会」が開かれます。神戸市生田区中山手七丁目一ノ三 大和三千世 (341) 366

によるチームワークのよさなど邦楽会に新鮮味を持ちこみ、この度の秋の夕べを彩る演奏と舞踊の会が持たれる運びになつたわけあります。

プログラムは第一部は「大和楽」の小品「祇園の夜桜」「おせん」「古跡の秋」「四季の花」などを

演奏。第二部は「三十石夜船」を若手の三味線奏者としてトップの人気・実力を持つ大和久満が一丁弾きを、渋い円熟味を加えた地元神戸の大和三千世の独吟で淀の川瀬を洒落た味わいで唄いました。

今、女流としての最高のスケールと美声を持つ家元大和美世葵が十八番「河」を披露。河は隅田川の朝から夜の風物詩を唄う代表的な名曲です。

他に地元の舞踊家が大和楽の「あすなろう」「団十郎娘」「お祭り」を踊り幕を閉じました。この創設者ゆかりの大倉山は父君にあたる大倉喜八郎氏が市に寄贈した図書館もある神戸の文化ゾーン半世紀を経た「大和楽」が、ここに花開き、満員の聴衆を集めて印象深い舞台を創り、明日の邦楽への新しい道へ一步あゆめたのも不思議な「縁」に思えるのです。

こころ伝えたい人に…
自然の風味のユーハム。



ドイツ菓子
Fuerheim's
ユーハム[®]

このマークのお店でお買い求め下さい

本店 三宮 生田 神社前 TEL (331) 1694
三宮店 三宮 大丸 前 TEL (331) 2101
さんちか店 三宮地下街スウィーツタウン内 TEL (391) 3539
西ドイツ店 フランクフルトゲーテハウス内 TEL (0611) 280262

刀劍 古美術



梵鐘(李朝期)三五七
四五〇、〇〇〇円

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀劍 古美術 元町美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081

ビリケン

竹中 郁

（詩人・絵も）

前号の「松もむかし」を読まれた荒尾親成さんから古い写真のコピーが二枚送られてきた。一枚は太い松並木を二台の人力車。車夫と婦人客がうつっている。一枚は呉錦堂の邸前に中国革命の父といわれる孫文を中心に、威儀を正した日支両国の紳士たちが並んで撮られた記念写真だ。総勢二十二名、うしろに当時の民国旗が左右に二本立っている。孫文を除いて、私の知っている顔は一つもない。

ところが、解説を読んでおどろいた。前列の左から三人目が、やはり当時の新政客だった戴天仇だという。この戴天仇の甥が、じつは詩人の黄瀛君なのだ。この黄君は東京の文化学院から陸軍士官学校を卒え、その間、日本の現代詩を書いて二冊の詩集をものした。詩人として高村光太郎からも好遇されて、その彫刻のモデルとなつて、ブロンズの作品が今日どこかに残っている。实物を見られた方も多い筈である。

その黄君が神戸を通過して日支の間を往来したわけだ。そのたび国鉄三宮駅（つまり今の元町駅。高架にならない頃の赤レンガの平屋建の小駅

だ。）に迎えて、人力連にのつて突堤の汽船まで送つていつたりした。陸軍士官の服装をしている黄君、こちらは学生服。この二人をのせた人力車夫は、あんたら二人とも上手な日本語を使いまんねん、と感に耐えてみせた。荷物にかいてある名前や揚げ先の天津をみていたのだろう。二人をシナ人とみたのだ。

戴天仇の若いときの写真をみて、叔父甥の間柄とはいえ、兄弟のようによく似ているのに私はびっくりしたわけだ。

現今、八角堂という俗称に馴らされたが、もとは「移情閣」と、ちゃんと黒地に金文字の扁額が掲がつていた。その西に二階建の呉錦堂邸があつて、その又西に「舞子焼」の陶器を売る店、つづいて「かめや」「さかいや」という料亭があつた。みな松並木の西国街道に面していた。その八角堂より東にあつたのが万亀楼で、今日の阿部邸（赤瓦屋根洋館）と小さい溝をへだてていた。

荒尾さんの手紙では、その万亀楼の位置を確かめたい趣旨が書いてあった。前号の文にも書いた



が、私の記憶にまちがいはない。今の阿部邸の前身の、これも洋館だったが、施主は大阪北浜の梅原という株屋だったのもちゃんとおぼえているくらいだ。

とにかく、時の朝鮮総督の寺内ビリケンがお供をつれて、舞子駅からわずか二百米くらいを偉そうに人力車にのつてくるのを、たまたま滞留していた私は見た。なぜ「ビリケン」などと人が呼んだか。その顔つきと禿げ頭の形が、当時アメリカで流行した人気もののアイドルにそっくりだったの、新聞や「東京パック」などという雑誌が、寺内陸軍大将をからかっていたのだ。大正四年か五年のころだ。

おなじころ、私は呉錦堂の息子の呉啓藩と親し

くなつて、かれの上等の自転車を使ってけいこをさせてもらつた。彼は当時、楠町七丁目にあつた県立神戸商業学校へ通つていた。すこし、ひんがら目で、すこしおどけ者のように見えた。生きていれば、もう八十歳を越している年ごろだが、たしか昭和のはじめに死んだ。

ちよいちよい山陽電車で乗り合せたこともあつたが、手を振つてうなずくくらいで、深く話を交わすこともなかつた。私の記憶力はそんなに抜群というほどではないが、三回にわたつて種々の物象を書きならべることができたほどはある

国鉄舞子駅は長い間、木造の和風駅で雅趣をこしていたが、十年前に今のコンクリートの、

いわゆる民衆

駅になつてしまつた。以前

の駅の売店

で、松に因んだ「松露」と

いう白衣の菓子

（これは明石の本町の富士せんべいで造つた）が小さい竹のかごに松葉を敷いて売られていた。よく母に買ってもらつた。

孫文

